

大規模災害対策検討特別委員会記録

1 会議の日時	開会 午前 9 時 57 分 平成30年 7月 4日 閉会 午前 11 時 13 分
2 会議の場所	第三特別委員会室
3 出席者	委員長 早川捷也 副委員長 森 正弘 伊藤正博 矢島成剛 川上哲也 松岡正人 山田 優 牧村範康 伊藤英生 中川裕子
	執行部 別紙配席図のとおり
4 事務局職員	主査 高口好美 主事 野村康太

5 会議に付した案件	
件名	審査の結果
<p>1 災害時のヒト・モノの円滑な供給体制の確保</p> <p>（1）岐阜県災害時広域受援計画について</p> <p>（2）被災市町村に対する応援体制の強化について</p> <p>2 その他</p> <p>報告事項 大阪府北部を震源とする地震について</p> <p>報告事項 6月29日からの大雨による被害概要等について</p>	

6 議事録（要点筆記）

○早川捷也委員長

ただいまから、大規模災害対策検討特別委員会を開会する。本日の委員会は、重点調査項目に基づき、大規模災害対策の推進について協議するため開催したものである。今回は、岐阜県の防災対策の取組みのうち、特に災害時のヒト・モノの円滑な供給体制の確保と題し、岐阜県災害時広域受援計画、被災市町村に対する応援体制の強化についての二点について議論いただく。それでは、本案件について、執行部の説明を求める。

（執行部 挨拶）

（執行部 説明）

○早川捷也委員長

ただいまの説明に対し、質疑はあるか。

○川上哲也委員

ラストワンマイル問題の解決に向けて、県はどのような形が理想と考えているか。

○長尾防災課長

ラストワンマイルの輸送は、市町村が担う部分であり、市町村がトラック協会等へ委託することなどが考えられるが、市町村で対応できない場合は、県や関係機関で対応をしていきたい。

○渡辺危機管理政策課長

国から県、県から市町村、そして避難所と物資が搬送される中で、市町村拠点までの物資輸送の役割などについては、県の受援計画に記載した。今後は、市町村が避難所までの輸送を行うためのマニュアルを策定してもらおうよう、市町村アドバイザーチームなどを通じてノウハウの助言などをしていきたい。

○川上哲也委員

東日本大震災などでも物資輸送の計画はあっても、実際は避難所まで物資が届かなかった。もっと具体的な形を作してほしい。

○渡辺危機管理政策課長

ラストワンマイル問題の解決にあたっては、地域の状況に応じて対応は変わってくると考える。地元との団体と協定を結んでいる市町村などもあるが、県としてもきめ細かく対応していきたい。

○川上哲也委員

広域防災拠点のうち、飛騨エアパークについては屋根がないことや大型トラックが入りにくい、大型ヘリが着陸できないなどの弱点があるが、今後どのように対処していくのか。

○長尾防災課長

災害時の飛騨エアパークの活用については、物資集積だけでなく、様々な用途が想定されており、状況に応じて使い方を考えていきたい。

○川上哲也委員

飛騨エアパークで物資集積を行わない場合は、飛騨地区の物資はどこに集積するのか。

○長尾防災課長

飛騨高山ビッグアリーナが集積拠点となる。

○渡辺危機管理政策課長

それぞれの拠点ごとにプラスの点とマイナスの点があり、飛騨エアパークは自衛隊等の活動拠点として優れていると考える。昨年度、物資拠点に想定される全ての施設で機能を調べたところであり、飛騨地区では、飛騨高山ビッグアリーナを物資拠点として考えている。

○川上哲也委員

陸路が使えない場合に、自衛隊の大型ヘリが着陸する場合をなど想定して、飛騨エアパークの機能改善を考えてほしい。

○長尾防災課長

農政部にもそのように伝えて検討していきたい。

○松岡正人委員

広域防災拠点の選定理由はどのようなものか。人口バランスなどは考慮したか。

○長尾防災課長

交通アクセスが良いことや、避難施設など他の用途に使われない施設を選定している。

○松岡正人委員

人口バランスはあまり反映していないのか。

○長尾防災課長

各圏域に2か所以上設置しており、今の施設を最大限に活用することを考えていきたい。

○松岡正人委員

意見だが、プッシュ型輸送だと大型ヘリで物資を持ってくることが考えられる。各地域にヘリが降りられる拠点を作って、そこから様々な手段で各地に物資を送るようなことを想定してほしい。人口が多いと多量の物資が必要なので、備蓄のあり方も含めて検討してほしい。

○渡辺危機管理政策課長

県の広域防災拠点は県有施設を中心に指定している。今後は、今回大野の道の駅を指定したように、拡充についても検討をしていきたい。また、自衛隊のヘリによる支援ありきではなく、まずは県のオペレーションがしっかりできるように訓練していきたい。

○川上哲也委員

米軍からの支援も入ってくる可能性があるが、その際の協力体制についてはどのように考えているか。

○渡辺危機管理政策課長

熊本地震の検証によると、自衛隊の支援では自衛隊基地が拠点となったと聞いており、本県でも自衛隊基地が拠点となると考えられる。

○山田優委員

災害マネジメント支援職員は知識が必要だが、どのような研修を考えているか。

○長尾防災課長

7月中旬に指揮統制や市町村マネジメント、災害対策本部運営などについての研修を行う。下半期には外部講師を招いた講習を行うほか、防災訓練にも参加してもらう。

○山田優委員

災害マネジメント支援職員には、他県の災害に派遣された職員もいるのか。

○長尾防災課長

東日本大震災などに派遣された職員が入っている。

○早川捷也委員長

質疑等も尽きたようなので、これをもって、質疑を終了する。続いて、その他報告事項として、大阪府北部を震源とする地震について、6月29日からの大雨による被害概要等について報告願う。

(執行部 説明)

○早川捷也委員長

ただ今の報告に対して、意見はあるか。

○川上哲也委員

大阪北部地震での個人宅への支援はどのようなものか。

○長尾防災課長

大阪府では、ご遺族には100万円、全壊・半壊の世帯には5万円の義援金が支給されると聞いている。

○川上哲也委員

災害救助法が適用されても、被災者生活再建支援法の支給の要件が満たされなければ、個人宅への支援は行われないのか。

○渡辺危機管理政策課長

そのとおり。住家が全壊や大規模半壊をした世帯が、支援の対象となる。

○川上哲也委員

被災者生活再建支援法が適用されない住宅に対して、県として、個人住宅への支援の検討はどのように考えているか。

○渡辺危機管理政策課長

ある市に被災者生活再建支援法が適用された時に、市町村によっては、同一被害であっても、支援の対象となったりならなかったりすることがあるが、その不均衡を補完するための県の単独の補助制度がある。

○松岡正人委員

ブロック塀の点検について、私立学校、県立学校、市町村立学校で調査結果の項目が違うのはなぜか。

○河田私学振興・青少年課長

私立学校については、県有施設と同じ基準で調査を依頼した。

○竹中教育財務課教育施設整備監

市町村立学校と県立学校は同じ基準で調査をしているが、県立学校は著しい劣化がなかったなど、結果が異なっているため、調査結果の項目が異なっている。

○早川捷也委員長

今回、大阪北部の地震の被害を受け、ブロック塀の調査をしているが、それ以外にも樹木の調査や台風発生時の対応など、総体的に何が危険かを考えて、点検していかなければならない。下呂市の災害も、間伐をやってないなどの原因により、起こるべくして起こった。防災全体をどうしていくかを考えていかなければならない。

○西垣危機管理部長

ご指摘のとおりであり、今回ブロック塀の調査を行ったが、学校施設、県有施設などの安全管理は大切であり、事前防災としてきっちり点検・評価していく必要がある。下呂市のような土砂災害についても、これまでの対策で十分であったかなど、他部局と連携して取組んでいきたい。

○川上哲也委員

消防団員は安い手当で活動しているが、大規模災害時に、消防団員が長期に活動するときの手当について、団員に負担をかけないように県としてサポートする仕組みを考える必要があるのではないか。

○西垣危機管理部長

他の地域への派遣の時ということか。

○川上哲也委員

地元の団員が長期間に渡り活動していく時のことである。

○新海消防課長

今後検討していく。

○早川捷也委員長

県では、地震発生時の震度について、どれくらいを想定しているか。

○西垣危機管理部長

地震によって違うが、南海トラフ地震では岐阜県の南部で最大震度6弱、養老―桑名―四日市断層による直下型地震だと、最大震度7を想定しており、平成23～24年度の県の調査では、冬の朝5時に発生

した時には、死者3,100人、負傷者26,000人、全壊家屋68,000棟の被害を想定している。

○早川捷也委員長

災害が起きてから、何日くらいで物資が入ってくるのか。

○渡辺危機管理政策課長

プッシュ型の支援の場合は、発災後3日目までに物資が届くという想定になっている。

○早川捷也委員長

災害が起こった場合に、食糧などの物資は備蓄されているのか。

○長尾防災課長

個人では3日間、市町村には1日分の備蓄を行うようお願いしている。

○早川捷也委員長

以上で、本日の議題は終了したが、この際、意見等はないか。

(発言する者なし)

○早川捷也委員長

意見もないので、これをもって委員会を閉会する。

平成30年第3回定例会 大規模災害対策検討特別委員会 配席図

平成30年7月4日(水) 10:00～
議会西棟3階 第3特別委員会室

		古田 治山課 森林監視指導監	伊藤 森林整備課 森林経営対策監	上出 防災課 地域防災支援監	早崎 消防課 管理調整監	海蔵 危機管理政策課 防災情報管理監		
--	--	----------------------	------------------------	----------------------	--------------------	--------------------------	--	--

太田 商業・金融課 経営支援対策監	細井 薬務水道課長	中畑 医療整備課 医療対策監	竹中 教育財務課 教育施設整備監	加藤 建築指導課長	河田 私学振興・青少年課長	柴田 水道企業課長	鷺野 下水道課長	高見 防災課 防災対策監
-------------------------	--------------	----------------------	------------------------	--------------	------------------	--------------	-------------	--------------------

奥田 道路維持課長	井上 河川課長	古田 砂防課 土砂災害対策監	杉原 危機管理部次長	西垣 危機管理部長	福手 危機管理部次長 兼岐阜地域危機管 理監	渡辺 危機管理政策課長	長尾 防災課長	新海 消防課長
--------------	------------	----------------------	---------------	--------------	---------------------------------	----------------	------------	------------

伊藤(英)委員
山田委員
川上委員
伊藤(正)委員

○
○
○
○

○
○
○
○

中川委員
牧村委員
松岡委員
矢島委員

○

○

早川委員長

森副委員長